

一

- 解説

図2から「泳ぎ」の発現率について説明している文章です。DとEは「実験当初は」「試行を重ねるにつれ」という言葉を手がかりにします。Fは「障壁を不透明な白色にした」「目標であるゴムホースがみえなかったからでしょう」という推測より、発現率が下がっていると考えられます。Gは、発現率が高確率になっていた泳ぎが「次第に減少し、最後には」と直前にあることと図2より、発現率が実験当初と同程度になったことが読みとれます。Hは「泳ぎ」の発現率が減少したということは、移動手段として「歩き」が再び見られるようになったということです。なお、図2の横軸の単位が、「(×5)回」となっていることを見落とさないようにしましょう。